

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 4 区分

【発行日】平成 19 年 3 月 8 日 (2007.3.8)

【公開番号】特開 2004-127513 (P2004-127513A)

【公開日】平成 16 年 4 月 22 日 (2004.4.22)

【年通号数】公開・登録公報 2004-016

【出願番号】特願 2003-415874 (P2003-415874)

【国際特許分類】

G 1 1 B 7/0045 (2006.01)

G 1 1 B 7/125 (2006.01)

【F I】

G 1 1 B 7/0045 A

G 1 1 B 7/125 C

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 1 月 23 日 (2007.1.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

P I D 領域とデータ領域を有する D V D - R A M ディスクを記録再生する情報記録再生装置であって、

前記 D V D - R A M ディスクに記録する記録データを 2 値化信号に変調して出力するとともにクロック信号を出力する変調回路と、

前記 2 値化信号と前記クロック信号に基づいてレーザ駆動電流を出力するレーザドライバと、

前記レーザ駆動電流に基づくレーザ光を前記 D V D - R A M ディスクに照射することで前記 D V D - R A M ディスクに記録データを記録するレーザと、を具備しており、

前記変調回路は、前記 P I D の読み取り時は前記クロック信号の出力を停止し、前記データ領域の記録時は前記クロック信号を出力することを特徴とする情報記録再生装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の情報記録再生装置において、

前記レーザドライバと前記レーザは前記 D V D - R A M の半径方向に移動する光ヘッドに設けられており、

前記変調回路と前記光ヘッドはフレキシブルケーブルで接続されていることを特徴とする情報記録再生装置。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の情報記録再生装置において、

前記レーザドライバと前記レーザは前記 D V D - R A M の半径方向に移動する光ヘッドに設けられており、

前記変調回路と前記光ヘッドは別個の回路基板上に形成されていることを特徴とする情報記録再生装置。

【請求項 4】

P I D 領域とデータ領域を有する D V D - R A M ディスクに対する記録方法であって、

前記データ領域の記録時は、前記 D V D - R A M ディスクに記録する記録データを 2 値化信号に変調して出力するとともにクロック信号を出力し、該 2 値化信号と該クロック信

号に基づいて記録パワーレベルのレーザ駆動電流をレーザに出力することでデータ領域に対し記録データを記録し、

前記 P I D の読み取り時は、前記クロック信号の出力を停止し、再生パワーレベルでレーザを駆動するレーザ駆動電流をレーザに出力することで P I D の読み取りを行うことを特徴とする D V D - R A M ディスクに対する記録方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】情報記録再生装置、および、記録方法

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

上記課題は特許請求の範囲に記載した発明により解決される

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】削除

【補正の内容】